

冬期における採食状況調査 実施結果(釧路自然環境事務所)

以下の5地点において、2013年2月中旬に冬期のエゾシカによる採食状況調査を実施した。なお、この調査は2012年にも同様の手法により実施している。



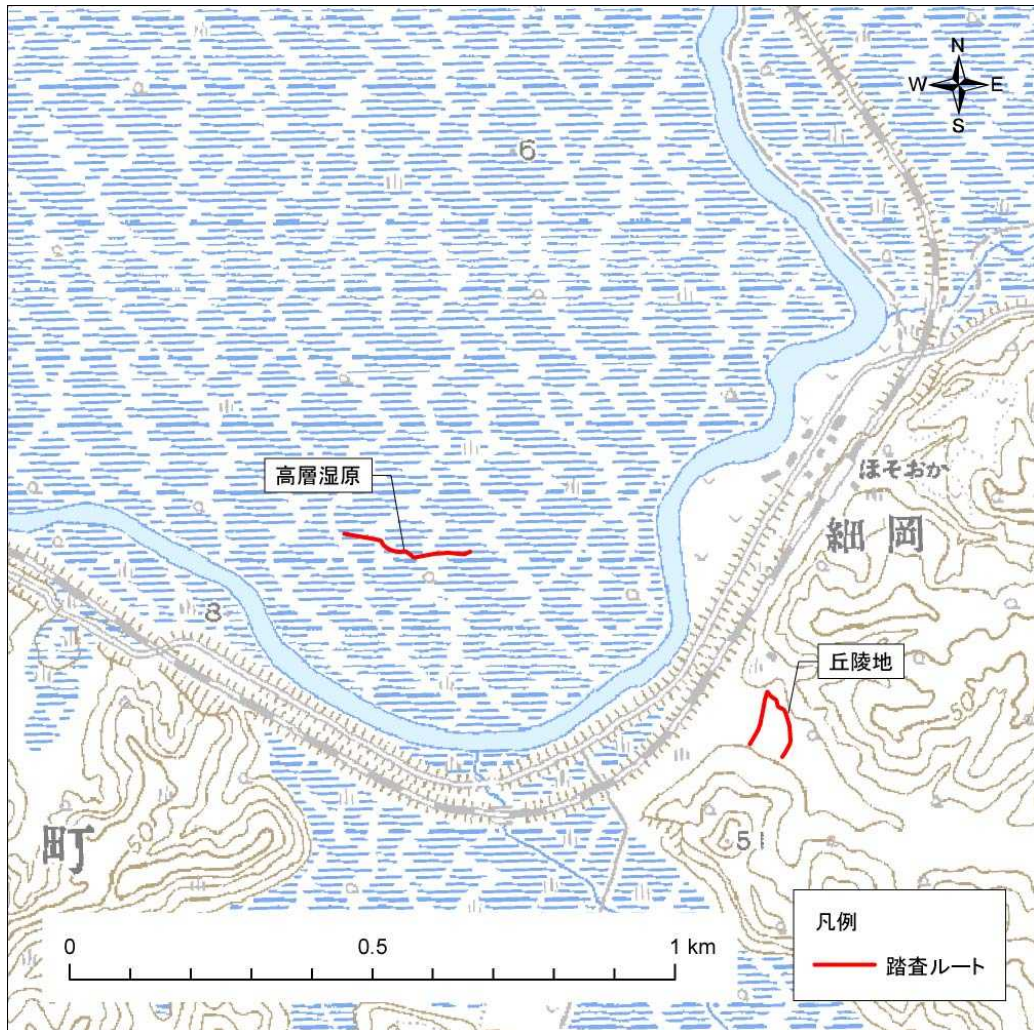
調査方法

調査手法	詳細
ライトランセクト法	主要なシカ道を踏査し、片側1m(両側2m)範囲における植物の食害、シカ道の分岐回数及びシカによる踏み荒し面積、植物の採食状況を記録。

調査項目	詳細
シカ道調査	シカ道の分岐(交差)、踏み荒し箇所をGPSで記録。
採食状況調査	採食植物の箇所を記録し、出来る限り種を同定し、採食部位を記録。高木・亜高木は胸高直径(DBH)、樹皮剥離は全周か一部かを記録。

①細岡駅周辺及び釧路川右岸

本調査地区では、釧路川右岸の高層湿原（ヒメワタスゲーワラミズゴケ群落）、及び細岡駅裏の沢地の丘陵地（広葉樹林）において現地調査を行った。

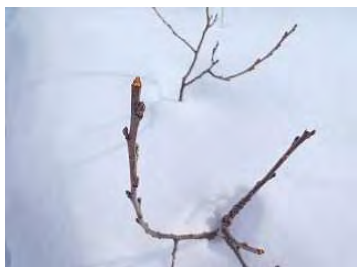


細岡駅周辺及び釧路川右岸 調査位置図

	高層湿原	丘陵地
踏査ルート距離 (m)	221	217
積雪深 (cm)	20	26
シカ道の分岐回数	—	3回
踏み荒し面積	—	—

A. 高層湿原における採食植物種と件数

和名	件数	採食部位					備考
		樹皮	枝	葉	茎	根	
ハンノキ	3	○	○				一部
合計	3						



ハンノキ



ハンノキ



ハンノキ

B. 丘陵地における採食植物種と件数

和名	件数	採食部位					備考
		樹皮	枝	葉	茎	根	
カラマツ属	(1)	○					補足, 一部
オニグルミ	(1)		○				補足
タチヤナギ	2	○	○				一部
ヤナギ属	1	○	○				一部
ホザキシモツケ	2		○				
オオクマザサ	(1)			○	○*		補足
合計	5 (3)						

() は補足調査での確認件数である。



カラマツ属



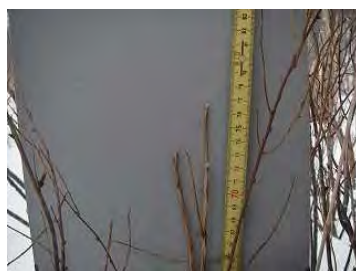
オニグルミ



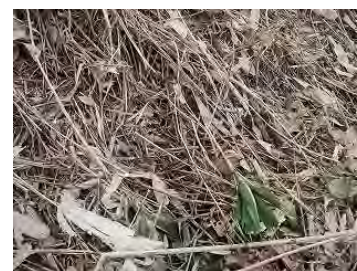
タチヤナギ



ヤナギ属の



ホザキシモツケ



オオクマザサ

②サルボ展望台周辺及びサルルン沼周辺

本調査地区では、サルルン沼周辺の低層湿原（ヨシーイワノガリヤス群落、ツルスゲームジナスゲ群落）、及びサルボ展望台からサルルン展望台にかけての中間付近に位置する南斜面の丘陵地（広葉樹林）において現地調査を行った。



サルボ展望台周辺及びサルルン沼周辺 調査位置図

	低層湿原	丘陵地
踏査ルート距離 (m)	559	274
積雪深 (cm)	25 - 50	15 - 30
シカ道の分岐回数	13回	14回
踏み荒し面積	—	—

A. 低層湿原における採食植物種と件数

和名	件数	採食部位					備考
		樹皮	枝	葉	茎	根	
ハンノキ	6		○				
ヨシ	2			○	○		
イネ科	1			○	○		
合計	9						



ハンノキ



ハンノキ



ハンノキ



ヨシ



ヨシ



イネ科

B. 丘陵地における採食植物種と件数

和名	件数	採食部位					備考
		樹皮	枝	葉	茎	根	
ハルニレ	(1)	○					補足, 一部
イタヤカエデ	1		○				
ヤチダモ	1		○				
ハシドイ	10	○	○				全周及び一部
合計	12 (1)						

* () は補足調査での確認件数である。



ハルニレ



イタヤカエデ



ヤチダモ



ハシドイ



ハシドイ



ハシドイ



ハシドイ



ハシドイ



ハシドイ

※補足調査：釧路川沿いの二本松周辺でヤナギ属、ホザキシモツケ、ヨシが採食。



タチヤナギ



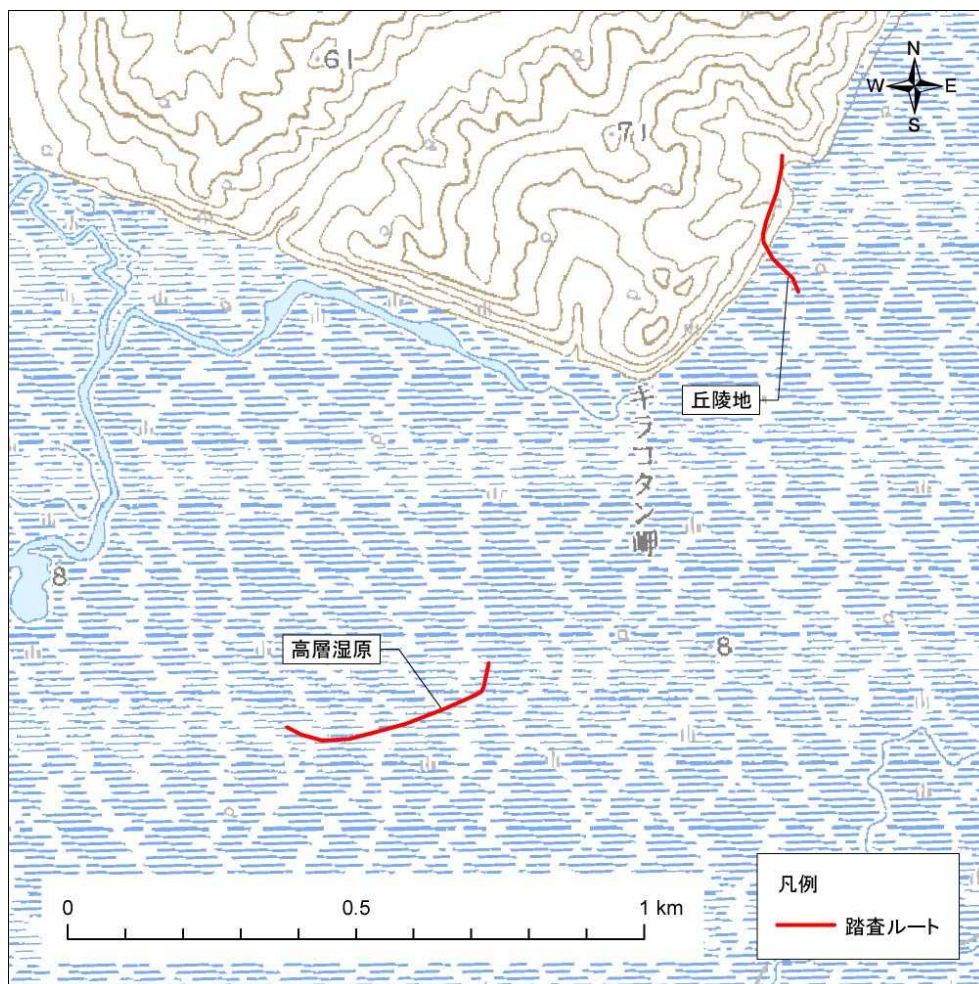
ホザキシモツケ



ヨシ

③宮島岬・キラコタン岬周辺

本調査地区では、キラコタン岬の南西側の高層湿原（カラフトイソツツジーヤチツツジ群落）、及びキラコタン岬の北東側の丘陵地（広葉樹林）において現地調査を行った。



宮島岬・キラコタン岬周辺 調査位置図

	高層湿原	丘陵地
踏査ルート距離 (m)	407	261
積雪深 (cm)	45	20
シカ道の分岐回数	明瞭なシカ道なし	5回
踏み荒し面積	—	—

A. 高層湿原における採食植物種と件数

和名	件数	採食部位					備考
		樹皮	枝	葉	茎	根	
ハンノキ	1 (1)	○	○				補足 (1件)
合計	1 (1)						

* () は補足調査での確認件数である。



ハンノキ

B. 丘陵地における採食植物種と件数

和名	件数	採食部位					備考
		樹皮	枝	葉	茎	根	
ケヤマハンノキ	1		○				
ハンノキ	2		○				
ホザキナナカマド	1		○				
オオクマザサ	2 (1)				○*		補足 (1件)
合計	6 (1)						

() は補足調査での確認件数である。



ケヤマハンノキ



ハンノキ



ハンノキ



ホザキナナカマド



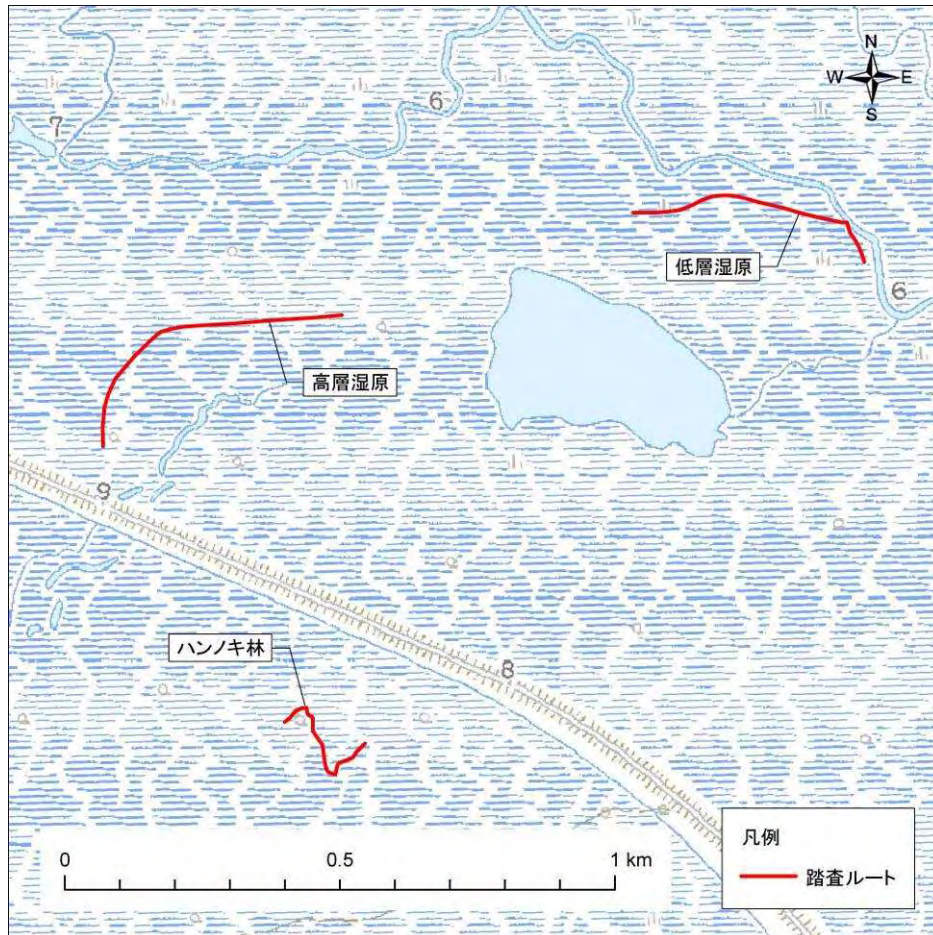
オオクマザサ



オオクマザサ

④赤沼周辺

本調査地区では、赤沼西側の高層湿原（カラフトイソツツジ-ヤチツツジ群落）、赤沼北側、幌呂川左岸に位置する低層湿原（ヤチヤナギ-ムジナスゲ群落）、赤沼から築堤南側に位置するハンノキ林（ハンノキ群落）を対象に調査を実施した。



赤沼周辺 調査位置図

	高層湿原	低層湿原	ハンノキ林
踏査ルート距離 (m)	577	479	274
積雪深 (cm)	35 - 60	40 - 60	15 - 40
シカ道の分岐回数	明瞭なシカ道なし	明瞭なシカ道なし	—
踏み荒し面積	—	—	—

A. 高層湿原：エゾシカによる採食痕は確認できなかった。

B. 低層湿原：エゾシカによる採食痕は確認できなかった。

C. ハンノキ林における採食植物種と件数

和名	件数	採食部位					備考
		樹皮	枝	葉	茎	根	
ハンノキ	1	○					
クロミノウグイスカズラ	2		○				
ツルスゲ	2				○		
キノコ類	3						
合計	8						



ハンノキ



クロミノウグイスカズラ



クロミノウグイスカズラ



ツルスゲ



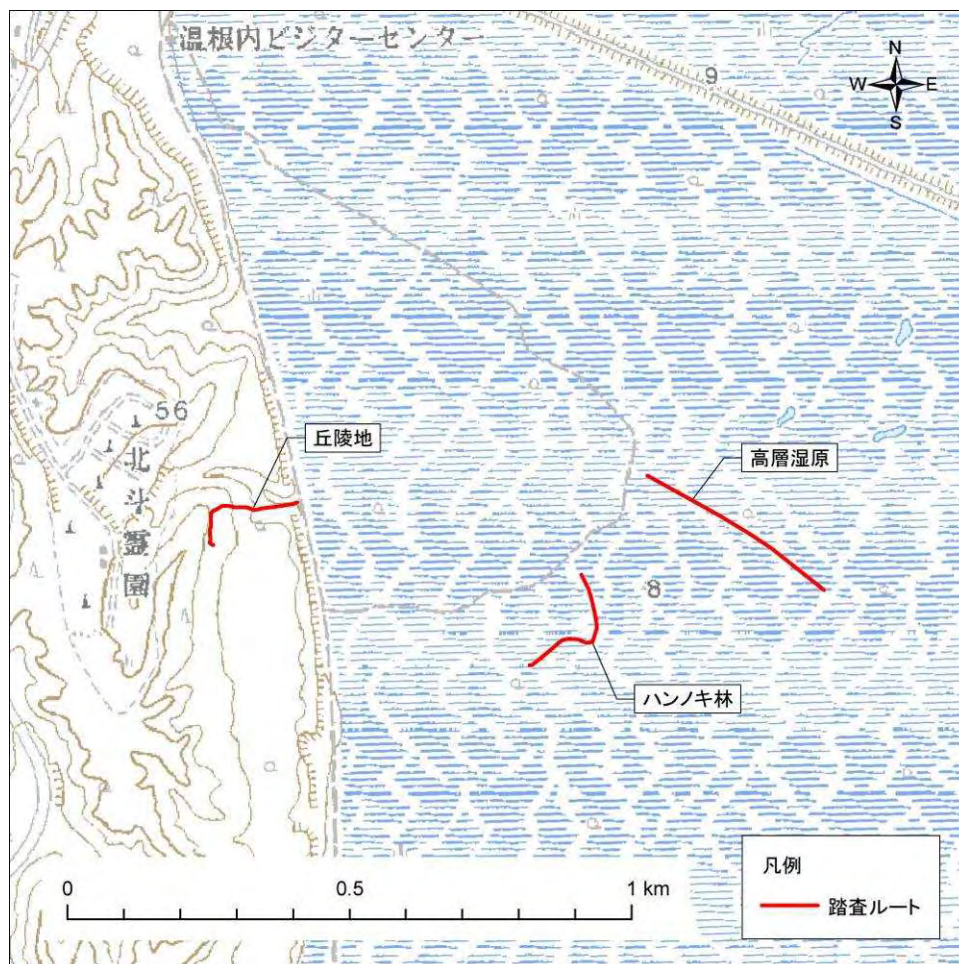
キノコ類



キノコ類

⑤大島川流域

本調査地区では、木道南東側の高層湿原（カラフトイソツツジーチャミズゴケ群落）、ハンノキ林（ハンノキ群落）、温根内ビジターセンター南側の沢地の丘陵地（広葉樹林）を対象に調査を実施した。



大島川流域 調査位置図

	高層湿原	ハンノキ林	丘陵地
踏査ルート距離 (m)	373	253	219
積雪深 (cm)	10 - 70	25 - 50	20 - 50
シカ道の分岐回数	明瞭なシカ道なし	—	2回
踏み荒し面積	—	—	57.5 m ²

A. 高層湿原：エゾシカによる採食跡は確認できなかった。

B. ハンノキ林における採食植物種と件数

和名	件数	採食部位					備考
		樹皮	枝	葉	茎	根	
ハンノキ	4	○	○				
合計	4						



ハンノキ



ハンノキ

C. 丘陵地における採食植物種と件数

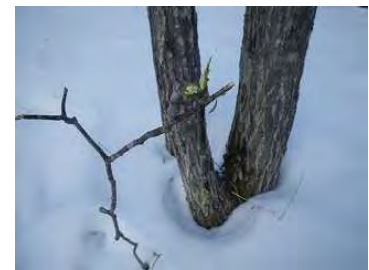
和名	件数	採食部位					備考
		樹皮	枝	葉	茎	根	
ミズナラ	2		○				
イヌエンジュ	1		○				
シナノキ	1		○				
オオクマザサ	2			○	○*		* 稈は「茎」に含めた
合計	6						



ミズナラ



ミズナラ



イヌエンジュ



シナノキ



オオクマザサ



オオクマザサ

○採食植物の比較 (2012&2013)

調査地全体でエゾシカによる採食痕が確認された植物は 16 科 25 種類であった。本調査で確認された採食植物の殆どが木本類であり、草本類についてはオオクマザサの採食痕が多く確認された。懸念されていた高層湿原におけるミズゴケ類の採食状況については、本調査では確認出来なかった。

調査地全体における採食植物

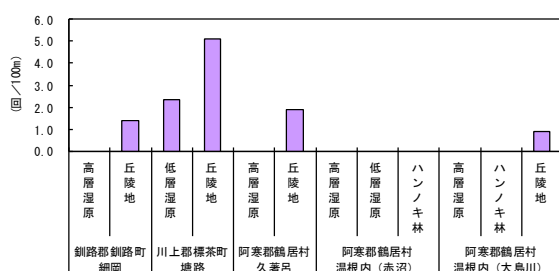
番号	科名	和名	細岡駅周辺及び釧路川右岸		サルボ展望台周辺及びサルルン沼周辺				宮島岬・キラコタン岬周辺		赤沼周辺			大島川流域		
			高層湿原	丘陵地	低層湿原	丘陵地	補足(二本松)	補足(元線路)	高層湿原	丘陵地	高層湿原	低層湿原	ハンノキ林	高層湿原	ハンノキ林	丘陵地
1	マツ	カラマツ属		◎												
2	クルミ	オニグルミ		◎												
3	ヤナギ	エゾノキヌヤナギ					○									
4		タチヤナギ		●			●									
		ヤナギ属		●			◎	○								
5	カバノキ	ケヤマハンノキ						○		◎						
6		ハンノキ	●		●				◎	◎		◎		◎		
7	ブナ	ミズナラ		○						○					◎	
8	ニレ	ハルニレ		○		◎		○								
9	ユキノシタ	ノリウツギ		○												
10	バラ	エゾノコリンゴ				○										
11		ホザキナナカマド							●							
12		ホザキシモツケ		●			●	○								
13	マメ	イヌエンジュ													◎	
14	カエデ	イタヤカエデ				●										
15	シナノキ	シナノキ							○						◎	
16	ウコギ	タラノキ		○			○									
17	モクセイ	アオダモ								○						
18		ヤチダモ				◎										
19		ハシドイ				●										
20	スイカズラ	クロミノウグイスカズラ											◎			
21		エゾニワトコ						○								
22	イネ	ヨシ			●		●									
23		オオクマザサ		●		○			●						◎	
		イネ科		○	◎		○									
24	カヤツリグサ	ツルスゲ											◎			
		スゲ属				○			○							
25		キノコ類												◎		
16科 25種類			1	9	2	7	5	5	1	8			4		1	4
			10		15				8		4			5		

※ 網掛けは国立・国定公園特別地域内指定植物（釧路湿原国立公園）に該当する。

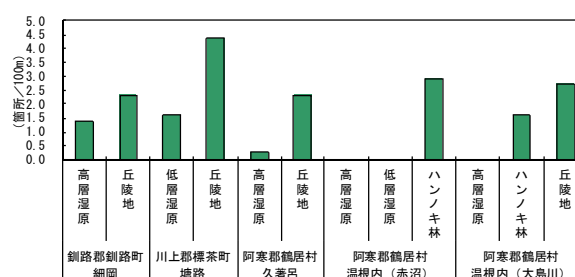
●2012年、2013年ともに確認 ○2012年確認 ◎2013年確認

○採食箇所数・シカ道の分岐回数・踏み荒し面積(2013)

調査地区	植生	積雪 (cm)	調査距離 (m)	シカ道分岐回数	踏み荒し面積 (m ²)	採食箇所数	調査面積 (m ²)	100mあたりのシカ道分岐回数	踏み荒し割合 (%)	100mあたりの採食箇所数
細岡駅周辺及び釧路川右岸	高層湿原	20	221	—	—	3	442	—	—	1.4
	丘陵地	26	217	3	—	5	434	1.4	—	2.3
サルボ展望台周辺及びサルルン沼周辺	低層湿原	25-50	559	13	—	9	1,118	2.3	—	1.6
	丘陵地	15-30	274	14	—	12	548	5.1	—	4.4
宮島岬・キラコタン岬周辺	高層湿原	45	407	—	—	1	814	—	—	0.3
	丘陵地	20	261	5	—	6	522	1.9	—	2.3
赤沼周辺	高層湿原	35-60	577	—	—	—	1,154	—	—	—
	低層湿原	40-60	479	—	—	—	958	—	—	—
	ハンノキ林	15-40	274	—	—	8	548	—	—	2.9
大島川流域	高層湿原	10-70	373	—	—	—	746	—	—	—
	ハンノキ林	25-50	253	—	—	4	506	—	—	1.6
	丘陵地	20-50	219	2	57.5	6	438	0.9	13.1	2.7



植生毎のシカ道の分岐箇所数比較



植生毎の採食状況比較

○まとめ

(1) 植生毎のシカ道の分岐回数

- ・「サルボ展望台周辺及びサルルン沼周辺」で最も多い。
- ・「丘陵地」ではいずれの調査地区でもシカ道の分岐を確認。

(2) 植生毎におけるエゾシカによる踏み荒し状況

- ・「大島川流域」の丘陵地のみで確認。
- ・調査対象面積(219m×幅2m)の13.1%が影響を受けていた。

(3) 植生毎の採食状況

- ・採食痕の頻度は、丘陵地>ハンノキ林>低層湿原>高層湿原
- ・食痕は、丘陵地のオオクマザサやハシドイ、平地や河畔のヤナギ類などで顕著。
- ・ミズゴケやヨシスゲ等の湿原特有の植生への影響は冬期には確認されなかった。

(4) 総括

- ・丘陵地でエゾシカによる影響が顕著。
- ・積雪の多い湿原西部よりも東部で影響が大きい傾向。
- ・冬期には湿原植生への影響は軽微と思われる。

※ただし、2012 及び 2013 年は多雪であったため、シカの行動が平年と異なっていた可能性がある。